$N_{0.32}$

平成 28 年 12 月 14 日

「なるほど、なるほ ど、こういうことか。」

「そうそう、上手やね

え。」・・・温かい言

葉のやり取りでしっ

かりとした縄が編ま

れていきます。

加東市立滝野南小学校 学 校 通

> 今年も5、6年生が しめ縄飾りを作りま した。昨年度よりずっ と増えて25名もの 指導者の方に来てい ただきました。本当に ありがたいです。

子どもたちは、おじ いさんのおっしゃる

子どもたちの苦戦する様子を笑顔で見ながら、ときには手を

添え、ときには見本を見せて、 共同作業でしめ縄飾りができ 上がっていきます。普段は、室 内遊びといえばコンピュータ

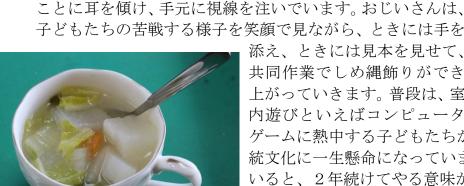
ゲームに熱中する子どもたちが、このときばかりは日本の伝 統文化に一生懸命になっています。子どもたちの様子を見て いると、2年続けてやる意味がよく分かります。5年生のと きは一つもうまく作れなくて、半分以上作ってもらったり、 全部作ってもらったものをいただいたりしていた子が、6年 生では三つも四つも上手に作り上げました。でき上がったし め縄飾りを嬉しそうに持って帰る子、もっと時間があったら もっと作れるのにと言う子。わらが積んである軽トラのそば まで来てわらをもらって帰る子・・・・。

今年も、稲坂陽吉さんが中心になってこの活動を支えてく ださいました。100束ものわら打ちに、3日間もかかった

そうです。「でもな、おかげでその日はよう寝れたで!」と、笑顔でお話されました。

そして、おじいさん方がご指導される後ろ姿を見ながら、日本には昔から稲作があるか らこそわらが生活の必需品になったこと、わらでものを作ることは子どもの仕事でもあっ たこと、わらを編んで縄を作りそれで縄跳びをしたことなども、懐かしい目でお話されま した。わたしは、遠い昔、祖父が背中を丸めて、むしろの上でしめ縄飾りを作っていた姿 を思い出しました。「これ、持って帰って飾っとけ」。

地域の指導者の皆さま、心より感謝申し上げます。来年もよろしくお願いいたします。



ひまわり、たんぽぽ、すみれ学級 のみんなが、自分たちで育てた野菜 で**ポトフ**を作りました。ハクサイ が、ダイコンが、ニンジンが、なん と優しい味なんでしょう。なんとお いしいスープになったんでしょう。 食べる者みんなが笑顔になりまし たよ。ごちそうさまでした。



準備、ご指導ありがとうございました。子どもたちが言 っていましたよ。「大久保先生、3回目はいつするの?」。



跳び箱教室。跳べなかった子が 跳べるようになったり、もっと高 い跳び箱へと挑戦したり。熱気に あふれた4日間でした。